

# あきたかニュース

2007

加藤あきたか事務所

1・1

〒471-0824 豊田市河合町2-57

(月)

TEL0565-25-7056 FAX0565-25-7092

Email [info@akitaka.net](mailto:info@akitaka.net) [www.akitaka.net](http://www.akitaka.net)

## 新年 あけましておめでとう ございます

本年もよろしくお願いたします。



### □下山地区研究開発団地□

本年、10月1日付で、「(仮)下山地区研究開発施

設用地ほか土地利用対策チーム」の編成が行なわれ、それに伴って、人事異動がなされました。10名編成で、その内2名は下山支所への配属です。市長は、この研究開発拠点となる施設は、将来有意義なプロジェクトになる。また、地元区長からの強い協力要請を受けている。この事業は、愛知県と岡崎市の協力、支援がなくてはならず、また、地元の方々や地権者の協力も必要である。しかしながら、県の決定を受けておらず、今後は許可が下りるように努力していく。との方針がだされました。この件については、新聞からすっぱ抜かれた形で紙面に載せられましたが、まだ、県の許可等も下りていない段階でのこうした報道は、よほど気をつけなければ、出来る物も出来なくなる恐れがある。行政側としては、こうしたデリケートな問題を抱えつつ、プロジェクトチームを編成し、前向きに応じていくようである。

### □第7次総合計画□

### ～市民の皆さんも参画しましょう！～

現在、豊田市では、「第7次総合計画」(平成19年12月議決予定)を策定しています。これは現在の「第6次総合計画」の計画期間を4年あまり残しての策定となります。平成17年4月の市町村合併を受けて、市域や各地域の問題が「第6次」の場合と異なるため、いわゆる前倒しで行なっているものです。今回の総合計画は、より具体的な、実効性のある計画にしようとしています。しかし、そこには市民の意見は、なかなか取り入れられる仕組みになっていません。計画策定のスケジュール(豊田市ホームページ参照)を見てもらえばわかるとおり、ほとんど「市役所」、「審議機関」で決めてしまいます。その後、「市民参画」として、平成19年10月あたりでしょうか、「パブリックコメント」を行なうとしています。本当にそこで「市民の意見」が取り上げられるのでしょうか？私は、疑問です。市役所は、「市民の意見は議決寸前に情報公開し、意見を聞いたという形」にして、「市役所は、市民の意見を聞きました。」と胸を張るつもりなのは明白です。市民の皆さんもぜひ、声を大にして「市民参画」してください!!

#### 自民クラブ議員団視察

平成18年7月4日(火)～5日(木)

視察先 国土交通省・文部科学省

#### 企画総務委員会管内視察

平成18年7月12日(水)9:00～16:30

視察先 グリーン・クリーンふじの丘(藤岡)、どんぐりの湯・どんぐり横丁(稲武)、自然観察の森(高橋)

#### 企画総務委員会視察

平成18年8月2日(水)～4日(金)

視察先 横浜市・国土交通省・(財)自治体国際化協会・川崎市

#### 地域拠点整備活性化特別委員会視察

平成18年10月10日(火)～12日(木)

視察先 奈良県橿原市・京都府綾部市・京都府京都市・富山県富山市

#### 自民クラブ企画総務部会視察

平成18年10月16日(月)～18日(水)

視察先三鷹市・鎌倉市・大和市・横須賀市

#### 個人視察

平成18年11月14日(火)～16日(木)

視察先 日経グローバルセミナー、教育ソリューションフェア「第1回全国教育委員会セミナー」

# 加藤あきたか主な活動

- 7月4日-5日 **自民クラブ議員団視察**
- 7日 自民クラブ定例会
  - 10日 企画総務部会
  - 12日 **企画総務委員会管内視察**
  - 18日 企画総務部会
  - 19日 自民党県連大会
  - 20日 白風会研修会
  - 21日 自民党11区定例会・自民クラブ定例会
  - 28日 豊田三好事務組合議会・自民クラブ臨時会
  - 31日 地域拠点整備活性化特別委員会
- 8月2日-4日 **企画総務委員会視察**
- 7日 自民クラブ定例会
  - 9日 尾三八市議会議員合同研修会
  - 11日 地域拠点整備活性化特別委員会
  - 21日 全員協議会・自民クラブ定例会
  - 22日 企画総務部会・白風会研修会
  - 25日 自民クラブ定例会
  - 28日 企画総務部会
- 9月1日-22日 9月定例会
- 1日 企画総務部会
  - 5日 地域拠点整備活性化特別委員会
  - 8日 企画総務部会
  - 11日 全員協議会
  - 19日 企画総務委員会・企画総務部会
  - 25日 自民クラブ市内視察
  - 29日 自民クラブ第1回講演会

- 10月2日 自民党11区定例会
- 6日 自民クラブ定例会
  - 10日-12日 **地域拠点整備活性化特別委員会視察**
  - 16日-18日 **自民クラブ企画総務部会視察**
  - 19日 白風会研修会
  - 20日 自民クラブ定例会
  - 23日 パソコン研修
  - 30日 豊田三好事務組合議会
  - 31日 全員協議会研修会
- 11月2日 地域拠点整備活性化特別委員会・全員協議会・自民クラブ定例会
- 6日 企画総務部会
  - 14日-16日 **個人視察**
  - 17日 一般質問調整会議
  - 20日 地域拠点整備活性化特別委員会
  - 21日 企画総務部会・豊南地域教育懇談会
  - 24日 自民クラブ臨時会・一般質問調整会議
- 12月1日-15日 12月定例会
- 1日 企画総務部会
  - 15日 全員協議会・自民クラブ定例会

視察報告の詳細は  
ホームページを  
ごらんください。



## 12月定例会レポート

- |                   |                    |                   |
|-------------------|--------------------|-------------------|
| ◆12月01日(金)開会/議案上程 | ◆12月07日(木)産業建設委員会  | ◆12月13日(水)企画総務委員会 |
| ◆12月04日(月)一般質問    | ◆12月08日(金)環境福祉委員会  | ◆12月15日(金)議案決議/閉会 |
| ◆12月05日(火)一般質問    | ◆12月11日(月)生活社会委員会  |                   |
| ◆12月06日(水)一般質問・付託 | ◆12月12日(火)教育次世代委員会 |                   |

今議会では、議案92、請願4件の上程があり、すべての議案は可決し、請願については不採択となりました。その内、企画総務委員会(13日)に付託されたのは、17議案、請願2件でした。議案の中で、豊田市副市長定数条例、豊田市民生活活動促進条例、豊田市犯罪のないまちづくり条例、豊田市立学校施設開放条例が含まれており、市民生活に直接関わるものではないかと思われます。「副市長」については、地方自治法の改正により、助役が廃され、「副市長」になるものです。また、その役割も明確にされました。豊田市においては、今までどおりの「市長」-「副市長2名」体制でいく、ということが確認されました。







**地域拠点整備活性化特別委員会行政視察** 日時 平成18年10月10日(火)～12日(木)

視察先 奈良県橿原市・京都府綾部市・京都府京都市・富山県富山市

●10月11日(水)10:30～11:30「里山を活かした都市・農村交流活動」里山ネット・あやべ

目的;都市と農山村の交流を図りつつ、より効果的かつ効率的な地域の拠点づくりのあり方はどのようなものか、実践している事例を研修する。

まとめ;都市と農山村の交流が、その土地(綾部)を知ることとなり、また、地元の住民にとっても刺激となって、地域の「活力」となっていると感じた。「リピーター」から「ファン」になってもらうことが、様々な事業に波及効果として出ている。例えば「自称神戸支部長」といった人が出てきたり、事業のポスターは自分たちの手作りで、ということなどがあつたり、当初、地元住民は「都会から来た物好きな人」という見方から「この地域を手伝ってくれる隣人」という見方に変わってきている。最終的には「定住」を目標としているが、無理はしない。豊田市は、「帰農者住宅」なるものを作ったが、もっと息の長い活動や運動が必要なのではないかと感じた。



**自民クラブ 企画総務部会 視察** 日時 平成18年10月16日

(月)～18日(水)

視察先 三鷹市・鎌倉市・大和市・横須賀市

●10月16日(月)13:30～15:30「市民協働など」三鷹市議会

目的 市民との協働のあり方を学びとともに、市民サービスの向上策としてどんな施策があり、そうした施策をいかにして市政に反映させていくかを探る。

まとめ 市民の発意を原点に自治基本条例を制定するなど、豊田市の「パブリックコメント」制度よりもさらに進んだ仕組みを持っている。豊田市は、市民参画が進んだまちだと行政側は、胸を張っているようだが、三鷹市に比べれば、その足元にも及ばない。市民参画とは、どのようなものか、その目で確かめていただきたいくらいだ。今後は、そのようなまちづくりができるよう粘り強く、行政に働きかけなくてはならない。



**個人視察** 日時 平成18年11月14日(火)～16日(木)

名称 日経グローバルセミナー、教育ソリューションフェア「第1回全国教育委員会セミナー」



●11月15日(水)10:30～16:50「第1回全国教育委員会セミナー」日本教育新聞社

目的 教育を実践する学校そのものと、様々な教育行政の実施機関としての教育委員会の今後のあり方と時代に対応した役割を考える。

まとめ 特に印象に残ったのは、梶田勲一氏(兵庫教育大学 学長)の話であった。小中学校における最低限の教育が必要で、それは、社会に出るためのトレーニングといえる。といった話など、うなづける内容が多かった。

また、教育改革の流れの中で、芯のない政策が多くて困るといった話も実例を挙げながら講演していただいた。教育は、将来の国づくりの基本であるから、しっかりと行なっていただきたい。また、教師が尊ばれる社会に、公教育の再生を図るべきという意見にも賛成だ。そのためには、やはり地域・家庭が協力しなければ、なし得ないであろう。そういった意味でも「コミュニティスクール」を立ち上げ、学校力、教育力の向上を目指さなければならない。